

# 前橋市新庁舎 前編

御影石に覆われた重厚な外観が印象的な前橋市新庁舎。一九七三年の計画当時、地方行政の担う役割が大きくなってきた中で、次代の建築、そして都市の発展の規範となるような「二〇〇年の建築」を目指して建設計画がはじまった。



市庁舎は、窓口業務を行う低層部と、オフィス業務を行う高層部に分れている。低層部の中央にある光庭が建物の中央にも自然光を採り込んでいる。

## 「二〇〇年の建築」を目指して

上州名物のからっ風が吹く厳しい寒さの中、前橋市を訪れた。市庁舎の上層階に行くと、その風を生む雄大な赤城山の長い裾野がパノラマで見渡せる、横長の窓が印象的だった。

一九七三年、周辺町村との合併などの関係で市政施設が分散していた前橋市において、行政機能を一カ所に集中させるため、新庁舎の建設が計画された。新庁舎の方針は、その後の「地方の時代」を生み出した第三次全国総合開発計画などを踏まえて決められていたという。ローマ・クラブの『成長の限界』が発表された頃であり、環境配慮や自然保護の重要性が高まり、大都市ばかりでなく地方の可能性が期待されはじめた年代である。新庁舎は、そうした地方行政の変化に対応し、また脱スクラップ・アンド・ビルドを目指すため、「二〇〇年の建築」をスローガムとして建設された。

建物が「二〇〇年」建ち続けるためには、構造的な耐久性があるだけでなく、さまざまな工夫が必要だろう。業務を行いやすい機能上の合理性、維持管理の労力やコストを抑えるメンテナンスフリーや省エネルギー、災害時の防災拠点としての役割、そしてもちろん市民から親しまれる建物のデザインなど、前橋市は新庁舎の建設に

あたって、そうした多角的な視点で「二〇〇年」を目指したそうだが、また、市庁舎という建物は、その性格上、その後の都市づくりの規範ともなる。そのため、高層の建物が少なかった当時の前橋市においては、日照・景観・電波障害・ビル風などに入念に配慮されることが求められていたという。さらに、その後の高密度化する都市発展の中でも空地がたくさん計画されるように、市が積極的に総合設計制度を導入したところも特徴である。「二〇〇年の建築」を目指すということは、「二〇〇年の都市」を見据えるということでもあった。

## 長寿命建築をつくる

設計競技により選定された榎坂倉建築研究所は、この「二〇〇年の建築」という市の期待に応え、設計面から、さまざまな建物の長寿命化を図っている。まずは、諸機能のレイアウトにおいて、長く使われ続けられるような配慮が行われた。市民の利用頻度が高い窓口業務を低層部に集中させ、オフィス業務を高層部にまとめた合理

的な配置になっている。窓口業務が低層部にあることによって、バリアフリーとなり、高層部のオフィス空間では、分りやすく、広々としたオープンフロア方式が採用されている。さらに、「水と緑と詩のまち」をスローガンとする前橋市にふさわしく、南側の歩道沿いの植込みと緑が連続するかたちで配された光庭が、市民課と福祉課の仕切りを兼ねながらも、低層部を明るく緑豊かな空間に仕立てている。市民が利用する場所を、使いやすく、また快適につくること、詰まるところ、市庁舎の長い寿命に繋がっていくのだろう。



市民に開放されている高層部の最上階。外周部には壁がなく、横に長い窓が赤城山の見える風景を切り取っている。窓下の腰壁は陶板タイル仕上げ。(写真：山田新治郎)



施工中の様子。市庁舎には議会棟が隣接しており、渡り廊下で結ばれている。写真右下（西）の建物が議会棟。(提供：榎坂倉建築研究所)





左／低層部の屋上庭園より高層部を見る。上／高層部のバルコニー。日除けやビル風防止など、さまざまな効果がある。(写真：山田新治郎)

で用いられる。市庁舎も、たった六つの組柱（スーパー柱）と屋上・地下の壁梁（スーパー梁）だけの架構体を主体とする構造で、各階の大梁をこの架構体に結合させて構成している。結果、内部には構造を負担する柱や壁がほとんどない広い空間が実現された。この構造によって、時代と共に変化していくと予想される行政業務に柔軟に対応できる間取りと共に、周囲の雄大な景観をパノラマで見渡せる横に長い窓をつくることのできたのである。

また、構造においても構造家・松井源吾氏と協働し、長寿命化を図った。からっ風に耐えながら、各フロアに柱のない大空間を実現することができ、鉄骨鉄筋コンクリート造のスーパーストラクチャーを採用している。スーパーストラクチャーとは、強大な柱壁とペントハウス部分と地下構造部分を利用した、たった二層のスーパー梁を用いることで建物全体を支える構造だ。余計な柱や壁を省くことができるため、自由に内部をレイアウトしたいオフィスで好ん

と、バルコニーがあることにより、御影石の量塊を感じる閉鎖的な印象の外観と取れなくはないが、かえってそのことが市庁舎らしい重厚感のある外観を実現している。また、このバルコニーは、外側

に荷重をかけることにより梁の応力負担を軽減しようとする「やじろべえ構造」のために設置されているほか、ビル風の防止、防災上の避難、窓拭きなどのメンテナンス、日射しを抑えるための庇といったさまざまな環境的役割も担っている。市庁舎には、「一〇〇年の建築」をつくるためにさまざまな側面からの工夫が盛り込まれているが、このバルコニーだけを見ても、構造、維持管理、近隣環境への配慮などの効果が濃縮されている。「神は細部に宿る」という言葉を想えば、このバルコニーが「二〇〇年の建築」の象徴にも見えてくる。

建物の寿命は、物理的なものだけでなく決まるわけではなく、社会的、文化的、心理的な状況によっても左右される。そのため、長寿命（二〇〇年）に取り組むということは、常にさまざまな状況を複合的に考えて設計にあたるということでもあるのだろう。前橋市新庁舎の重厚な外観には、そうした建築の複合的な性格が現れているのではないだろうか。



BCS賞受賞当時の1階光庭周辺。光庭の右手に福祉課、左手に市民課がある。熱線反射ガラスが使われているので、夏場も暑くなり過ぎない。

使いやすい建物をつくり上げるために、設計者は前述のような合理的なプランと構造に至ったという。純粹で分かりやすいものほど使い勝手がよく、長持ちする、という考えである。

この建物には、高層ビルでは珍しくバルコニーが取り付けられており、それが外観の大きな特徴にもなっている。ガラスのカーテンウォールのオフィスビルに比べる

### さまざまな役割のあるバルコニー

「建築の原点」のような存在でした。私は、このプロジェクトがはじまった時、前橋市役所新庁舎建設準備室に配属され、その後、建設が開始されてからは建設事務室において（株）坂倉建築研究所と共同で監理を行いましたので、前橋市新庁舎建設の最初から最後まで携わりました。市関係職員や設計者、施工者などの関係者を結ぶパイプ役として、一日中かけずり回っていたのを覚えています。ひとつの建物をつくるのが、こんなにもた

### 建築主より

ひとりひとりが責任をもって主体的にもものづくりに取り組んだ



前橋市役所新庁舎建設事務室主任(当時) 櫻澤利雄 Toshio Sakurazawa

いへんなものか、とその時に身にしみて感じたものです。配属当時二十九歳でしたから、私にとって大きな建築の経験となりました。あの頃は、どんなに忙しくても、若さを武器に頑張りました。

前橋市新庁舎は、私にとって「建築の原点」のような存在でした。私は、このプロジェクトがはじまった時、前橋市役所新庁舎建設準備室に配属され、その後、建設が開始されてからは建設事務室において（株）坂倉建築研究所と共同で監理を行いましたので、前橋市新庁舎建設の最初から最後まで携わりました。市関係職員や設計者、施工者などの関係者を結ぶパイプ役として、一日中かけずり回っていたのを覚えています。ひとつの建物をつくるのが、こんなにもた

### 設計者より

入念に検討を繰り返した 前橋市新庁舎の細部の納まり



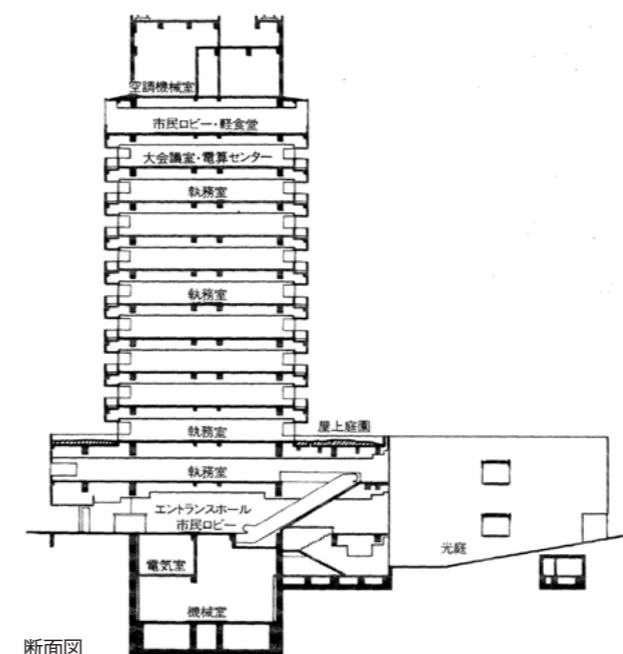
株式会社坂倉建築研究所(当時) 篠田義男 Yoshio Shinoda

がある組織事務所と異なり、当時の坂倉事務所にとっては久々の大型市庁舎の設計でした。もともと設計は現場に入っても継続されるという伝統もあることから、天井に光の線がきれいに通るように繊細にデザインされたシステム天井から始まり、ペリメーターゾーンに設けられた面一の引き戸で収まるシステム収納、三枚折戸型防火

（株）坂倉建築研究所は、建築家ル・コルビュジエに師事し、戦前戦後のモダニズム建築を担った坂倉進三が設立した設計事務所です。私が入所した頃、すでに坂倉さんは亡くなられていて、研究所は株式会社になっていましたが、ル・コルビュジエから受け継がれたであろう、建築家個人の自由で職人的なものづくりの精神は、研究所に根付いていました。前橋市新庁舎では細部の納まりを徹底的に検討しました。前橋市新庁舎の場合、数多くの設計実績



配置図



断面図



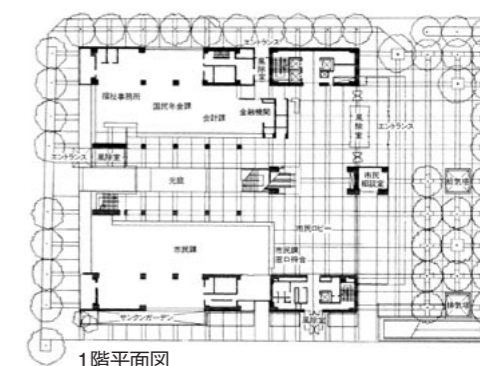
4階平面図



3階平面図



2階平面図



1階平面図

### 前橋市新庁舎

JR両毛線前橋駅から車で10分



#### 工事概要

所在地：群馬県前橋市大手町2-12-1  
 建築主：前橋市  
 設計者：株式会社坂倉建築研究所  
 施工者：清水建設株式会社、佐田建設株式会社、小林工業株式会社  
 竣工：1981年5月31日  
 敷地面積：5,956.01㎡  
 建築面積：3,230.08㎡  
 延床面積：21,517.60㎡  
 規模：地下2階・地上12階・塔屋2階  
 構造：鉄骨鉄筋コンクリート造

